

## 平成29年度第5回教育研究評議会議事録

日 時 平成29年7月19日(水) 14:30～16:55  
場 所 浜松キャンパス S-Port 3階大会議室  
出席者 石井、丹沢、木村雅、東郷、堀川、寺村、伊東、本橋、鈴木、日詰、田島、菅野、江口、近藤、小西、塩尻、坂本、川田、木村元、河合、鳥山、平岡、原、恒川、三村、朴、澤田の各評議員  
陪席者 鈴木、村松の各監事、阿部、瓜谷、青木、宮原の各学長補佐

### I 前回議事録の承認について

平成29年度第4回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 静岡大学の理念と目標について

議長及び東郷委員から、制定予定の静岡大学の理念と目標について、資料1により説明があり、審議した。

鳥山委員から、参考1「未来を拓く静岡大学～ビジョンと戦略～」(以下「ビジョンと戦略」という。)の取扱はどのようにするのか質問があり、東郷委員から、「静岡大学の理念と目標」を新たな拠り所となるものにしたいということ、「ビジョンと戦略」の中の戦略の部分は作成時点での具体的な取組みの方針が記述してあるが、時の経過とともに変わるべきものであり、現時点での目標と計画は中期目標・中期計画に整理されていることから、「静岡大学の理念と目標」を制定することによって廃止予定としている旨、説明があった。また、議長から、戦略の中から「静岡大学の理念と目標」に残すべき項目があれば、意見を出してほしいとの依頼があった。

文言について意見等があり、東郷委員が集約することとし、8月に学内のパブリックコメントを実施し、次回平成29年9月20日開催の本会議及び平成29年9月22日開催の国立大学法人静岡大学経営協議会で審議・承認し、制定することとした。

議長から、各部局に持ち帰って検討し、意見を集約するように依頼があった。

#### 2 静岡大学地域創造教育センター規則等について

平岡委員から、平成29年10月1日施行予定の静岡大学地域創造教育センター規則案等について、資料2により説明があり、審議した。

文言について意見等があり、平岡委員が集約し、次回平成29年9月20日開催の本会議で審議・承認し、制定することとした。

(主な質疑・意見等)

- 学生に対して不都合がないようにする必要がある。
- 平成29年度第4回企画戦略会議(平成29年7月5日)報告事項6「地元高校からの意見」にあったが、部局によって対応が違うのは好ましくないので、全学センターなので、全学体制を構築する必要がある。
- 平成30年度概算要求事項「地域との連携に基づく、データサイエンス・リテラシー醸成のための離散系を基盤とした全学教育システムの整備」で数理・情報教育センターを設置し、企業等と協力することとしているので、地域創造教育センターと数理・情報教育センターが連携する必要がある。
- 静岡大学地域創造学環運営会議規則と整合性を図る必要がある。

### 3 静岡大学国際連携推進機構規則等について

鈴木委員から、平成29年10月1日施行予定の静岡大学国際連携推進機構規則案等について、資料3により説明があり、審議した。

文言について意見等があり、鈴木委員が集約し、次回平成29年9月20日開催の本会議で審議・承認し、制定することとした。

(主な質疑・意見等)

- ABP入試で、学士課程は全学で実施していて、修士課程は研究科で実施しているが、現場では混乱しているので、学士課程も修士課程も一緒にできるようにできないか。
- 将来的には一緒にできるかもしれないが、学士課程と修士課程の入試はちがうので難しいのではないか。
- 学士課程も修士課程も全てを一緒にできなくても、例えば、出願書類のチェック、合格発表は統一的にすることは可能ではないか。
- 静岡大学全学アジアブリッジプログラム委員会規則案第3条で、総合科学技術研究科から選出された教員を委員とすることとしているが必要あるか。必要に応じて出席でいいのではないか。
- 本機構と部局が有機的な連携を図る必要がある。

### 4 研究拠点形成費補助金（成長分野を支える情報技術人材の育成拠点形成）（略称：enPiT）の大学間連携に関する協定の締結について

近藤委員から、研究拠点形成費補助金（成長分野を支える情報技術人材の育成拠点形成）（略称：enPiT）の大学間連携に関する協定について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### 5 国立大学法人静岡大学ウェブサイト運営規則の一部改正について

堀川委員から、個人情報等をウェブサイトへ掲載することを明確に禁止するため国立大学法人静岡大学ウェブサイト運営規則の一部改正について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

### 6 学生の懲戒について

寺村委員から、学生の懲戒について、別添資料より提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## III 報告事項

### 1 平成29年度第4回企画戦略会議(平成29年7月5日)の報告

議長から、平成29年度第4回企画戦略会議(平成29年7月5日)について、資料6により報告があった。

### 2 教員の採用等報告について

議長から、教員の採用等報告（教育学領域1件、情報学領域2件、理学領域2件、工学領域3件）について、資料7により報告があった。

### 3 学位記における氏名の取扱いについての廃止について

議長から、静岡大学学生の旧氏名の使用に関する要項（前回本会議承認）の制

定に伴い、学位記における氏名の取扱いについて（平成18年8月29日役員会承認）を廃止したことについて、資料8により報告があった。

**4 平成28年度決算について**

堀川委員から、平成28年度決算について、資料9により報告があった。

**5 平成30年度概算要求について**

堀川委員から、平成30年度概算要求について、資料10により説明があった。

**6 THE Asia-Pacific University Ranking 2017 の発表について**

東郷委員から、THE Asia-Pacific University Ranking 2017 の発表について、資料11により報告があった。

**7 国立中央大学工学部（台湾）との修士課程ダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について**

鈴木委員から、国立中央大学工学部（台湾）との修士課程ダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について、資料12により報告があった。

議長から、単位認定は本学の単位に読み替えるように関係者で合意できているのか確認があり、川田委員から、本学の単位に読み替えて単位認定するように合意している旨、説明があった。

**IV その他**

**1 ワークライフバランス推進強化月間について**

堀川委員から、ワークライフバランス推進強化月間について、資料13により説明があり、議長から、協力するように依頼があった。

以上